

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属		福井大学・福井オーブ研究会				
役職		会長				
氏名		小島 慶藏	ふりがな	こじま けいぞう	生年	
連絡先	住所					
	固定電話				携帯電話	090-4038-3487
	メールアドレス	keizo.kojima.8888888@gmail.com				

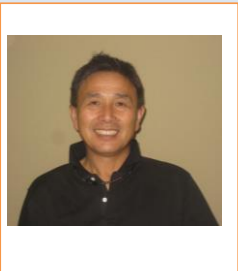
2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p>●2021年～現在、福井オーブ研究会会長(福井大学・総合自然教育センターでオーブ園を開設と同時に、福井大学で「福井オーブ研究会」を創設) ●2020年、福井大学から福井県庁FAA事業(大学などを応援)に申請、オーブ園開設と福井オーブ研究会創設が採択 ●2021年、福井県越前町で、ふるさと財団地域再生マネージャー事業 ●2019年、著書「地方創生でリッチになろう!」成功する8つの心得」中央経済社から出版、国立大学の地方創生の講義の教科書に採択 ●2016年～2020年、福井大学特任教授(「これからの地方創生と経営学」「これからの地方創生と国際戦略」を年間50コマ講義を実施) ●2017年、福井市役所で総務省地域力創造アドバイザー事業(オーブ6次産業を提案して砂丘の遊休地でオーブ300本を植樹栽培開始、現在2200本に拡大中) ●2014年～17年、経済産業省タウンマネージャー(福井県大野商工会議所、大野市役所で中心市街地活性化に取り組み、天空の城) ●2013年～2016年、京都府宮津市で総務省地域力創造アドバイザーのモデル事業を実施(オーブ6次産業創出、販路創出) ●現在、約2500本植樹、数千万円/1年の事業創出。ナマコ人工種苗育成、乾燥加工、輸出支援など) ●2013年～現在、食育指導士に認定 ●2012年～現在、オーブオイル・シニア(上級)・ソムリエに認定 ●2012年～2014年、熊本県上天草市で、ふるさと財団地域再生マネージャー事業実施 ●2009年～現在、総務省地域力創造アドバイザーに認定 ●2010年～、舞鶴市農業委員会から「農業者」に認定(2009年～2年間、1万平方mの農作業実施後) ●2006年～10年、舞鶴市役所勤務(2006年に「産業振興監」の役職で「産業振興室」21名を創設、地方創生を開始、市長直轄で、地域活性化の政策提言、具体策を実行、友好都市締結との初の輸出支援の産業交流、国内海外からのヒト・モノ・オカネの呼び込み、交流に成功。2007年に日本初の舞鶴港への国際クルーザー呼び込みにも成功。●伊藤忠商事の大坂本社に入社、韓国ソウル支店部長、中国大連市事業会社の代表取締役社長。国内、海外で新規事業立ち上げ、不採算部門を拡大均衡で立て直しを実施。</p>
取組内容・実績等	<p>●舞鶴市・地域再生マネージャー:海外戦略も視野に入れた産業振興、農商工連携、新規産業創出、人材育成(勉強会実施) ●2006年～2011年、舞鶴市内企業の環境プラントを中国・大連市に初輸出支援に成功(約60億円実施) ●2007年、舞鶴港に国際航路(中国航路と韓国航路)の就航支援に成功 ●京都の地場の日本酒を中国に初輸出の支援に成功 ●中国市場に向く「家庭用浄水器」の開発輸出支援に成功 ●国際クルーズのセミナーを日本で初開催(知事、市長も参加)。日本初で舞鶴港に国際クルーズ誘致、就航支援に成功(クルーズ1隻当たり3000名x2万円/1人x40隻=24億円/1年観光収入) ●2008年、農商工連携実施支援(休耕地10万平方mの活性化に成功。自らも2年間、1万平方mの休耕地で農作を実施、「農業者」に認定された) ●中国の胡蝶蘭を日本向けに開発支援に成功(京都府立大学教授と中国農家を訪問して品種改良して日本向け品種に改良して1000本の胡蝶蘭の初の開発輸入の実施支援に成功。輸入の胡蝶蘭苗については、国交省緊急支援補助金を活用して、温室2棟を立ち上げ、新規就農者が苗から胡蝶蘭を育成、農業スーパーへの販売支援に成功。 ●2012年～2014年、熊本県上天草市で地域再生マネージャー事業「国際的6次産業による観光再生と人材育成」を実施、イタリアとの姉妹都市提携、オーブ産業創出、人材育成を実施支援 ●2017年、福井市の総務省地域力創造アドバイザーで耕作放棄地でオーブ植樹を300本開始(現在2000本に拡大中) ●2021年、福井県越前町で地域再生マネージャー事業「若者夢おこしプラットフォーム構築事業」の実施支援、小学校前の広大な海岸の遊休地をランドマークと決めて、勉強会も立ち上げ、事業開始支援を実施 ●【講演会の講師】 ●2009年に総務省とふるさと財団主催の経済講演会で、「商社マンによる地域活性化奮闘記」について1時間30分の講師実施。舞鶴市役所、舞鶴商工会議所、舞鶴ロータリーでも講師を実施。 ●福井市役所で「 ●2018年、長野県と県議会からの招聘で国際的な地方創生についての講演会の要請があり「これからの地方創生と国際戦略」の講師を実施(1時間30分、550名参加) ●2019年、福井県生涯学習センターの講演会で「地方創生でリッチになろう!」の講師を実施(1時間30分、100名参加) ●2009年～2011年、ナマコの新産業創出で京都大学と組み、人工交配、陸上養殖、湾内養殖に国内初成功支援の実施(京都大学教授と中国のナマコの大学・企業・養殖者を訪問してノウハウ取得して、舞鶴市の補助金で京都大学がポスドク研究者2名を雇用、3年間でノウハウ確立支援に成功。 ●2012年～現在、福井県知事にナマコ産業を提案し、ナマコの人工交配15万匹と湾内養殖を実施支援。 ●2013年～2016年、総務省地域力創造アドバイザー・モデル事業「地域力創造のための起業家定住促進モデル事業」において京都府宮津市「農林水産業の成長産業化による宮津の元気づくりプロジェクト」に取り組み、農水産業活性化支援を実施 ●【勉強会の立ち上げ実施】 ●2010年～現在、舞鶴市で異業種交流会「東八塾」を立ち上げ、名譽顧問で継続中。 ●2011年～現在、福井県で県庁部長と関西電力支店長と関西電力支店長の産官学の勉強会「青龍会」を立ち上げ、会長で継続中。 ●2015年～2018年、福井県大野市で、商工会議所と市役所と産官学で若者勉強会「ダイヤモンド塾(大野問答塾)」を立ち上げ、塾長。 ●2023年、福井大学・国際地域学部・課題探求型プロジェクト授業と福井オーブ研究会が連携開始。課題探求型プロジェクト学生を福井オーブ研究会の会員の企業に派遣して「福井の中山間地域の活性化事業」を開始。2024年大学祭にオーブをテーマに出展計画で進行中。</p>
観光	
● 移住・定住・関係人口	関係人口の創出・育成・拡大、勉強会
● 農林水産業	オーブの6次産業創出、オーブ観光創出、ナマコの人工種苗育成・加工・輸出、農水産物のブランド化・販路創出
● 起業支援	勉強会の立ち上げによる企業支援
まちなか再生	(
集落再生	(
環境	(
その他	(

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
小島慶藏のホームページ	keizokojima89888888.wixsite.com/mysite

4. ふるさと財団での実績	
外部活用専門家	<ul style="list-style-type: none"> ◆2021年度 福井県越前町「若者夢おこしプラットフォーム構築事業」 ◆2013年度～14年度 熊本県上天草市「地中海化による観光再生・国際的6次産業創出事業」 ◆2012年度 熊本県上天草市「国際的6次産業創出・観光再生・地域人材育成プロジェクト」 ◆2006年度～08年度 京都府舞鶴市「地域内発型産業活性化プロジェクト事業」
遺外部専門家派	(短期診断)
地域再生	セミナー
その他	

5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和3年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/45ff1a477f455b10821212c56a1abe1c.pdf
平成26年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jisyuhoukokusyo.pdf
平成25年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H25chihikisaisei-jisyuhoukokusyo.pdf
平成24年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/1-H24-shinchiki-houkokusyo.pdf
平成18年度 地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiki/pdf5/1239174062659.pdf

6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>●産(伊藤忠商事・海外現地企業の代表取締役も含む)、官(舞鶴市役所・産業振興監を5年間勤務)、学(5年間、国立大学・福井大学で地方創生の学生に講義)の勤務経験があります。●大自然を活かした国際的6次産業創出による観光創出、人材育成勉強会の実施が得意分野です。●国内新規事業創出、輸出・輸入事業、産業創出、観光創出、6次産業創出、ブランド化、人材育成など多岐にわたっての実績を持ち、多面的なアドバイザー、ご支援をさせて頂き事を考えております。●地域の大自然の付加価値を随時上げ、大都市、海外に発信して、地域外からヒト・モノ・カネ・夢・情報を地域内に呼び込みます。市町村、地域の皆様方といっしょに信頼関係を築いて地域活性化を図っていく事が重要と考えております。●地域の持続的発展を表現するために、地域の担い手を育成する「勉強会」を立ち上げて、地域住民の方々を主役として地域活性化を図っています。(日本全国で立ち上げた「勉強会」は現在も継続中です。)</p>